

アプリのホーム画面



- ・バックアップしたファイル・フォルダーを復元する
- ・世代管理しているファイルを復元する
- ・削除したファイル・フォルダーを復元する
- ・バックアップしたいカテゴリや、ファイル・フォルダーを選択する
- ・バックアップから除外したいファイル・フォルダーを選択する
- ・バックアップスケジュールを設定する
- ・ファイル・フォルダーを元の場所に復元する

Webのホーム画面



- ・バックアップしたファイル・フォルダーを**プレビュー**、復元する
- ・世代管理しているファイルを**プレビュー**、復元する
- ・削除したファイル・フォルダーを**プレビュー**、復元する
- ・**アカウントの設定を変更する**
- ・バックアップしたファイル・フォルダーを別のPCからダウンロードする

Webの詳しい説明については「3. Web
管理画面説明」をご参照ください。



バックアップ待機中の各詳細状況の表示を説明します。

A 次回のバックアップ: 39 分 後 **今すぐ実行**

次回のバックアップが始まる予定時間を表示します。バックアップするファイル（待機中ファイル）がなければ、バックアップは実行しません。待機中ファイルがある場合は「今すぐ実行」が表示されます。「今すぐ実行」をクリックするとバックアップを実行します。

B 前回のバックアップ: 2 日 前

前回のバックアップが完了してからの経過時間を表示します。1時間以内は分単位で、24時間以内の場合は時間単位で、24時間以上は日数単位で表示します。

C バックアップした総ファイル: 39223 ファイル

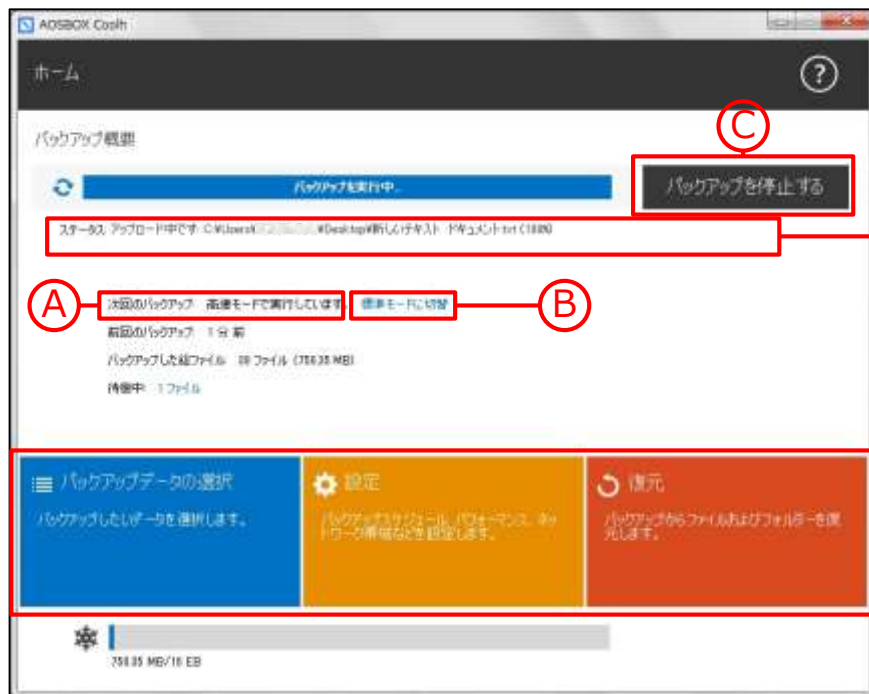
バックアップしているファイルの数を表示します。違う場所に保存しているファイルでも内容が全く同じファイル＝重複ファイルと認識した場合は、1か所のファイルだけをバックアップします。

D 待機中: 10 ファイル

次回バックアップされる予定のファイルの数を表示します。待機中ファイルがない場合は次回のバックアップの時間になっても、バックアップは実行しません。また、別のプログラムによりロックされているファイルや、頻繁に更新されているファイル等は、バックアップされずに次回のタイミングまで待機状態になっている場合があります。「XXファイル」をクリックすると次回バックアップするファイルの一覧を表示します。

E  202 KB/16 EB

16EBの内、バックアップで使用しているバックアップスペースの容量を表示します。上記の場合、202KBをバックアップで使用していることになります。



バックアップ実行中の各詳細状況の表示、基本メニューボタンを説明します。

A 次回のバックアップ: 高速モードで実行しています。

バックアップモードを表示します。標準モードと高速モードがあります。バックアップを早く終わらせたい場合は「高速モード」で、他の作業を優先させる場合は「標準モード」でご利用ください。

B 標準モードに切替

上記の（「標準モードに切替」を表示している）場合、「標準モードに切替」をクリックすると、標準モードになり表示が「高速モードに切替」に変わります。

C バックアップを停止する

バックアップを停止する時にクリックします。バックアップ実行中の時でも実行していない時でも、クリックして、バックアップを停止することが可能です。

D ステータス: アップロード中です: C:\Documents and Settings%\123\Desktop\新しいテキストドキュメント.txt (100%)

バックアップ実行中のファイルの状態を表示します。

E バックアップデータの選択
バックアップしたいデータを選択します。

上記パネルをクリックすると各設定画面に移動します。バックアップするカテゴリやファイル・フォルダーを選択したい場合は青いパネルを、バックアップスケジュールや、バックアップの環境を設定する場合は黄色いパネルを、バックアップしたデータを復元したい場合は赤いパネルをクリックしてください。

「おまかせバックアップ」は、写真、音楽など各カテゴリーごとにまとめてバックアップしたい場合に使用します。



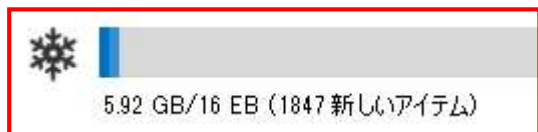
A

バックアップするカテゴリーを選択します。カテゴリー毎のバックアップするファイルの仕様は「7. 動作環境と注意事項」の「バックアップ対象ファイル」をご確認ください。

ちょっとメモ

他のバックアップソフトの多くは、ファイル・フォルダーを自ら選択しなければなりません。そのため、新しく追加したファイルをバックアップの対象にし忘れることがありました。「AOSBOX」ではカテゴリーを選べば、対象ファイルは自動的にバックアップ対象になるので、バックアップをし忘れることがなくなります。

B



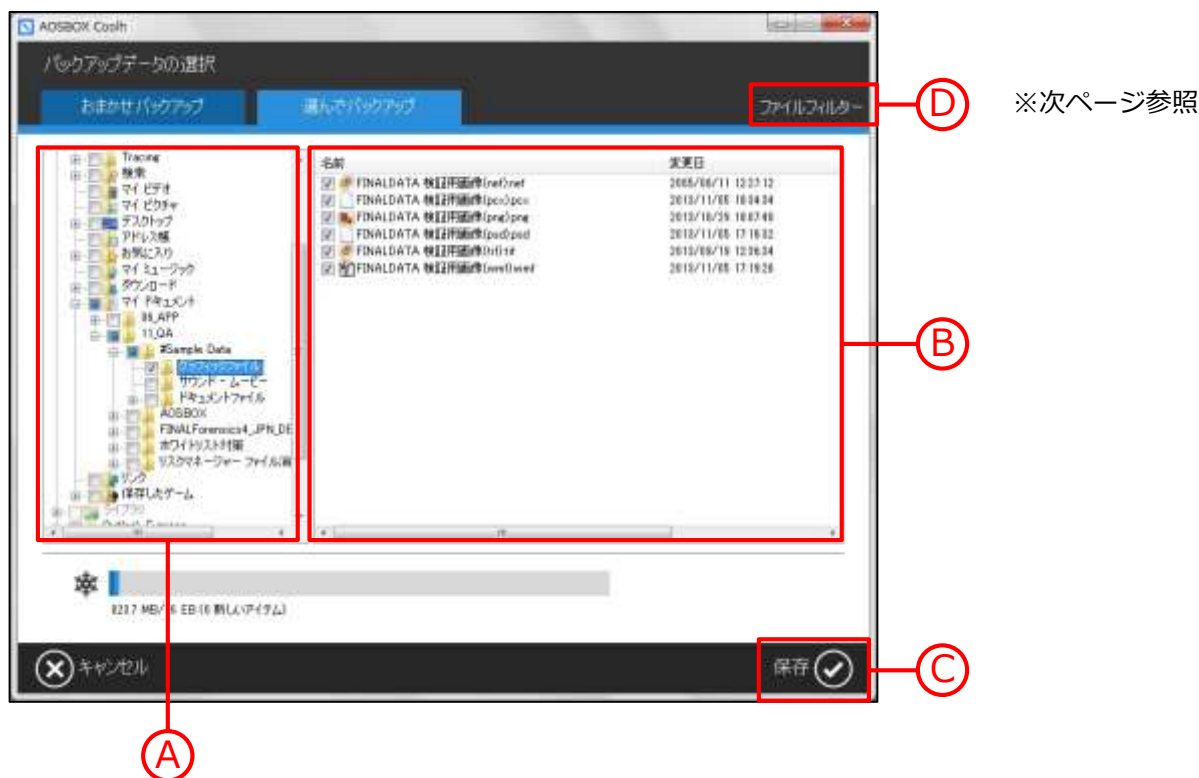
バックアップスペース中のバックアップで使用している容量と、上記でチェックを入れたカテゴリーのファイルをバックアップするために必要な容量を表示します。左記の場合、使用容量を青色、追加のバックアップで必要な容量を水色で表しています。

C

バックアップしたい項目へのチェックが入れ終わりましたら「保存」をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

2. アプリ画面説明 (詳細設定) バックアップデータの選択：選んでバックアップ

「選んでバックアップ」は、任意のファイル・フォルダーを個別に選択してバックアップしたい場合に使用します。

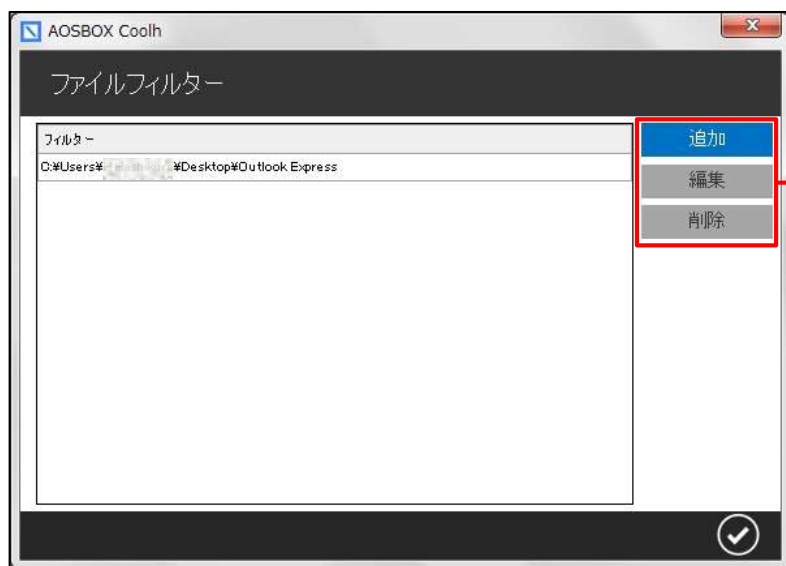


- (A) ツリーウィンドウに表示されているフォルダーを展開して、バックアップしたいファイルが格納されているフォルダーを選択します。
- (B) リストウィンドウに表示されたファイルのうち、バックアップしたいものにチェックを入れます。
- (C) ご希望の項目にチェックが入れ終わりましたら「保存」をクリックします。設定に応じてバックアップが始まります。

※ツリーウィンドウ、リストウィンドウで任意のフォルダーにチェックを入れると、そのフォルダーに格納されているすべてのファイル・フォルダーにチェックが入ります。

2. アプリ画面説明 (詳細設定) バックアップデータの選択：ファイルフィルター

バックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。



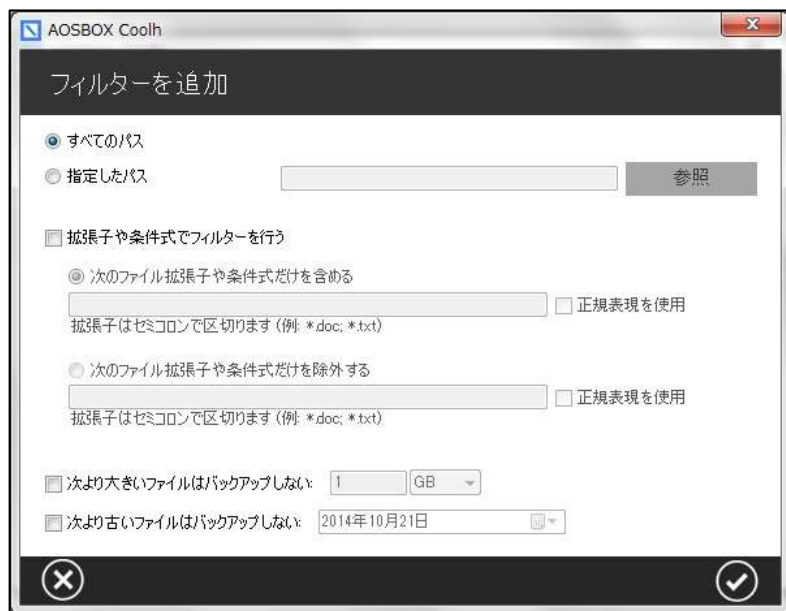
A

A

「追加」：
条件設定画面に移ります。(次画面)

「編集」：
設定した条件を編集します。

「削除」：
設定した条件を削除します。



最初に以下の項目を選択します。

「すべてのパス」：
おまかせバックアップと選んでバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。

「指定したパス」：
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

上記のどちらかを設定しましたら、以下の項目を設定します。

※フィルター設定する場合は、おまかせバックアップか選んでバックアップで、ファイルをバックアップ対象にしている必要があります。

「次のファイル拡張子や条件式だけを含める」：
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」：
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「次より大きいファイルはバックアップしない」：
ファイルサイズを指定して、指定より大きいものを除外します。

「次より古いファイルはバックアップしない」：
更新日を指定して、指定より古いものを除外します。

ホーム画面で「設定」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。最初に「スケジュール」の設定画面から説明します。ここでは、バックアップスケジュールの設定を行います。



「等間隔でバックアップする」：

設定した時間間隔でバックアップを実行します。

「バックアップデータ整合性チェックの実行間隔」：

バックアップ対象になっているファイル・フォルダーの中で、バックアップ漏れがないか等をスキャンするタイミングを設定します。

「スケジュールを設定する」：

設定した曜日、時間毎にバックアップを実行します。

バックアップスケジュールは、「等間隔」もしくは「一定の時刻」のどちらかを選択できます。等間隔でバックアップする時は、「等間隔でバックアップする」にチェックを入れ、一定の時刻を設定する時は「スケジュールを設定する」にチェックを入れ、日時の入力を行ってください。

2. アプリ画面説明 (詳細設定) 設定：速度

次に「速度」の設定画面について説明します。ここでは、ネットワーク帯域の設定やアプリの動作設定を行います。



「マルチスレッドでアップロードする（高速バックアップ）」：

アップロードを特にお急ぎの場合にチェックを入れます。すべてのネットワーク帯域を消費するため、通常はチェックを外しておいてください。

「ネットワーク帯域の設定を有効にする」：

このチェックを入れると、バックアップするファイルをアップロードする速度を制限することができます。

「帯域の設定をスケジュールする」：

このチェックを入れると、前項で設定したアップロードする速度を、任意の時間にのみ有効になる様に設定することができます。

「インターネットの接続方法を選択します」：

バックアップを行うタイミングを「有線LAN」「無線LAN」「モバイルネットワーク」の接続方法の中から選択して、制限することができます。

「SSLを使用する」：

データを暗号化して通信したい場合にチェックを入れます。

「プロキシ設定」：

お使いのOSのインターネットのプロパティ設定画面が起動します。

次に「デュアルバックアップ」の設定画面について説明します。ここでは、ハードディスクにもバックアップを取る場合の設定を行います。



「デュアルバックアップを有効にする」：

このチェックを入れると、デュアルバックアップが有効になります。参照を押してハードディスクにバックアップする場所を指定してください。

「デュアルバックアップのサイズを制限する」：

このチェックを入れると、ハードディスクにバックアップするサイズを制限することができます。最小100GBから指定する事ができます。

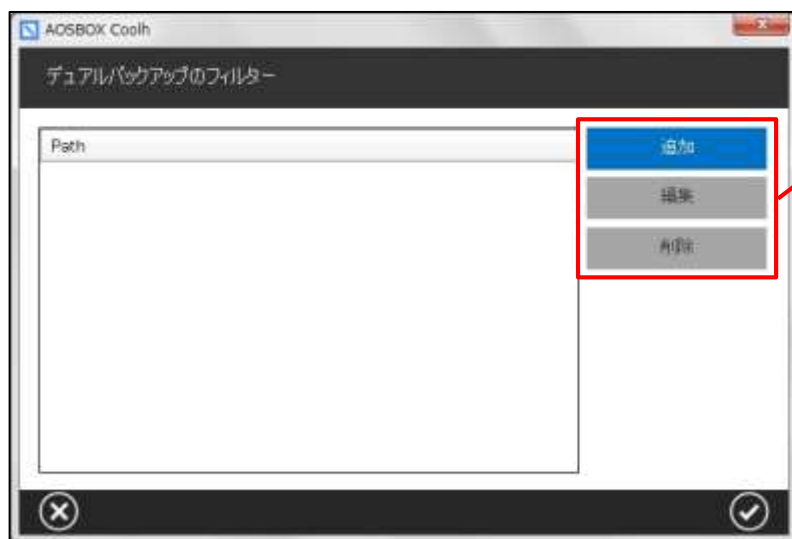
「デュアルバックアップにフィルターを適用」：

次ページをご参照ください。

「デュアルバックアップに以前バックアップしたファイルを再コピー」：

デュアルバックアップを開始した以前に、AOSBOXクラウドへバックアップしていたデータもデュアルバックアップに含めます。

デュアルバックアップしたいファイル・フォルダー群の中で、一部除外したいものがある場合にこの機能を使用します。



A

A

「追加」：
条件設定画面に移ります。（次画面）

「編集」：
設定した条件を編集します。

「削除」：
設定した条件を削除します。



最初に以下の項目を選択します。

「すべてのパス」：
ファイル・フォルダーの場所に関わらずバックアップのすべてを対象にフィルター設定する場合。

「指定したパス」：
指定したパス（場所）を対象にフィルター設定する場合。

上記のどちらかを設定しましたら、以下の項目を設定します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを含める」：
特定のファイルのみをバックアップしたい場合、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

「次のファイル拡張子や条件式だけを除外する」：
除外したいファイルがある場合は、チェックを入れて拡張子、条件式（正規表現）を記入します。

次に「高度な設定」の設定画面について説明します。ここでは、各種詳細な設定を行います。



「選んでバックアップにおいて隠しファイルを表示する」：

「選んでバックアップ」で隠しファイルをバックアップ対象にしたい場合にチェックを入れます。

「パソコン起動時にAOSBOX Coolhを実行する」：

パソコンを起動と同時にAOSBOX Coolhも起動します。通常はチェックを入れておいてください。

「AOSBOX Coolhのマーカを表示する」：

バックアップファイルのアイコンに、状況に応じたバックアップマーカを表示します。通常はチェックを入れておいてください。

「右クリックメニューを有効にする」：

ファイル・フォルダーにカーソルを合わせて、右クリックからバックアップ対象にすることができます。通常はチェックを入れておいてください。

「RAW画像のプレビューを生成(要追加処理)」：

サムネイルを生成して、Web管理画面上でRAW画像をプレビュー表示できるようにします。

「Web管理ページおよびモバイルアプリでのプレビューを有効にする」：

Web管理ページおよびモバイルアプリ上で画像をプレビューできるようにします。また、サイズを指定してより大きなファイルのプレビューは制限をかけることもできます。

**「VSS対象の拡張子」：**

拡張子を指定することで、開いているファイルやロック中のファイルが存在していてもバックアップ処理を可能にします。

「ブロックレベル対象の拡張子」：

ファイルをブロック単位に分け、変更があったブロックのみをバックアップします。これによりアップロードにかかる時間と容量を軽減することができます。

「プレゼンテーションモードを有効にする」：

プレゼンテーション、ゲームプレイ、動画閲覧などの最中にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

「バッテリーモードを有効にする」：

バッテリー残量が少なくなってきた時にバックアップを実行させたくない場合は、このチェックを入れます。

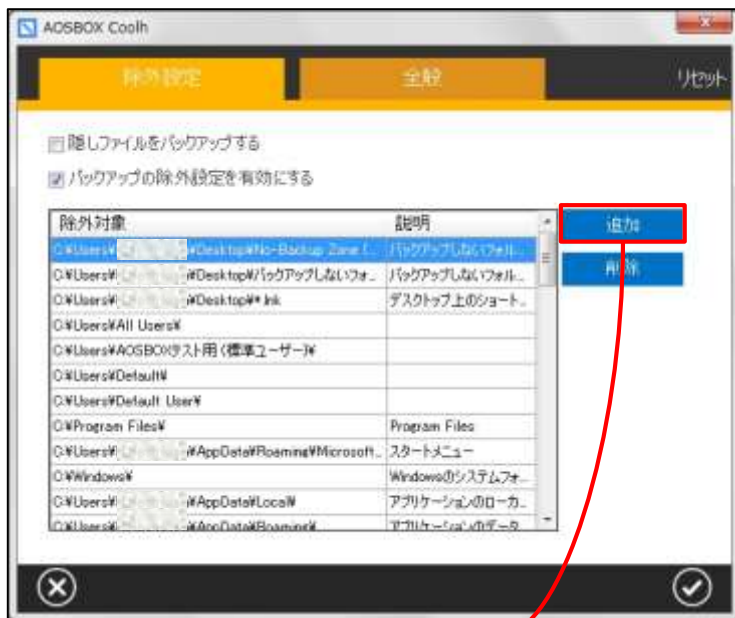
次に「モバイルアプリ」の設定画面について説明します。ここでは、AOSBOX Coolh Viewerのダウンロードを行います。AOSBOX Coolh Viewerは、パソコン用のAOSBOX Coolhでバックアップしたファイルを閲覧、管理するためのアプリです。



「AOSBOX Coolh Viewerをダウンロード」：

AOSBOX Coolh Viewerのダウンロードページへ進みます。詳しくは「7. AOSBOX Viewer」の解説をご参照ください。

次に「環境設定」の設定画面について説明します。ここでは、バックアップ対象の除外や、ログファイル取得についての設定を行います。



「隠しファイルをバックアップする」：

隠しファイルをバックアップ対象にする場合にチェックを入れます。

「バックアップの除外設定を有効にする」：

バックアップしたくないフォルダーのパスを指定して、バックアップ対象から除外する場合にチェックを入れます。

「追加」をクリックすると右のウィンドウが表示されるので、「除外対象」ボックスに除外したいフォルダーのパスを入力して「追加」をクリックします。また、必要であれば「説明」ボックスにわかりやすい説明を記入します。



「ログファイルを取得する」：

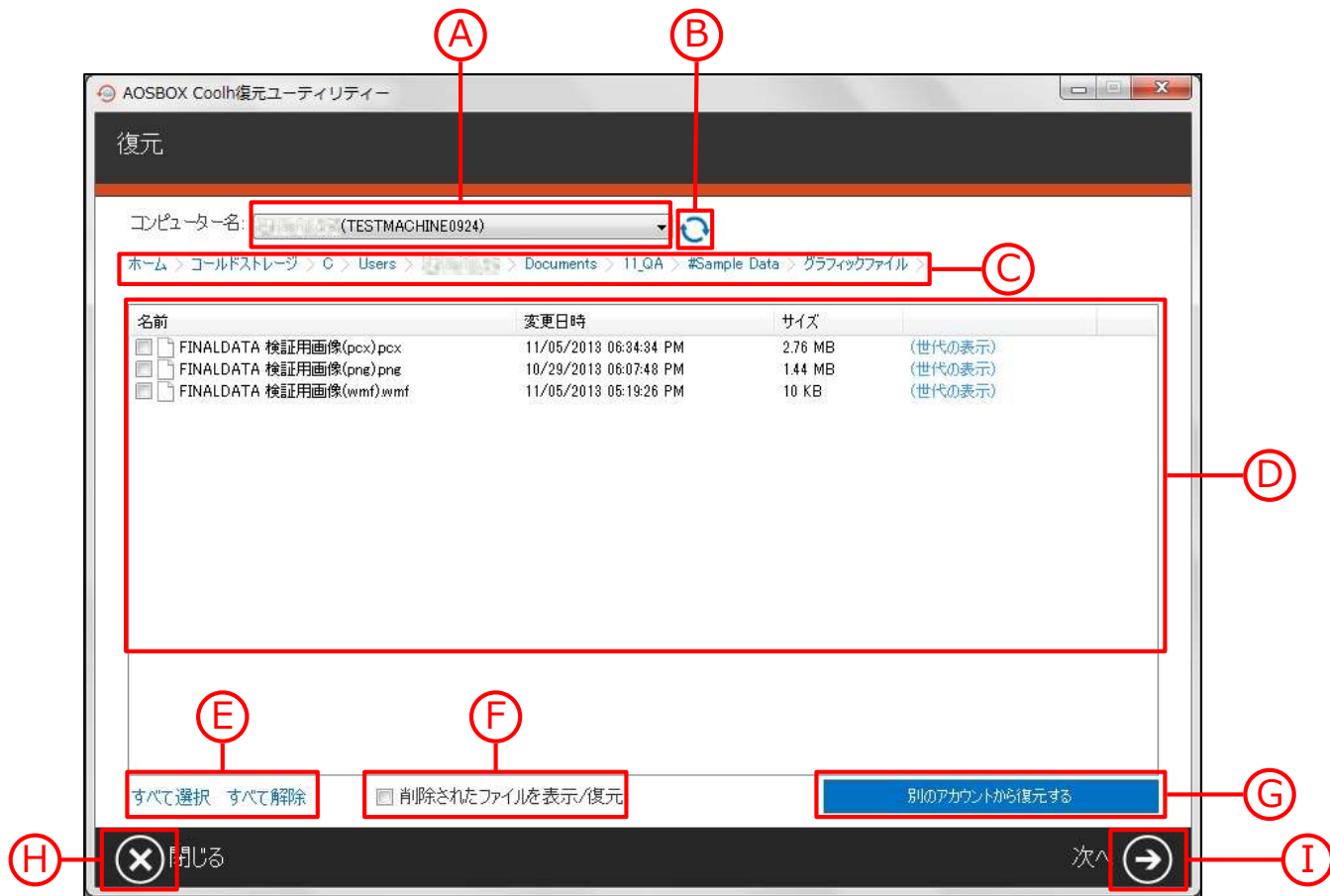
AOSBOX Coolhの動作履歴を取得したい場合にチェックを入れます。「ログを開く」をクリックすると、ログファイルの保存場所を参照できます。

「キャッシュドライブを変更」：

AOSBOX Coolhのキャッシュファイルを保存するドライブを変更できます。空き容量が2GB以上でNTFSフォーマットのドライブを選択してください。

2. アプリ画面説明 (詳細設定) 復元

ホーム画面で「復元」をクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。



- (A) バックアップしているパソコンの名前を表示しています。
- (B) 表示している内容を最新の情報に更新します。
- (C) 下のウィンドウに表示しているファイルの保存場所（フォルダー）を表示しています。各フォルダー名をクリックすることにより、フォルダー内容を参照することができます。
- (D) バックアップしているファイル・フォルダーの一覧を表示しています。
- (E) ウィンドウ「D」に表示されているファイル・フォルダーのチェックを一括（選択／解除）します。
- (F) チェックを入れると、パソコンから削除されたファイル・フォルダーを表示します。
- (G) 別のアカウント（例：別のパソコンでバックアップしたデータ）から復元したい場合に、使用するボタンです。
- (H) このウィンドウを閉じます。
- (I) 復元の詳細手順へ進みます。詳しくは「4. 復元」の解説をご参照ください。